

# 知ろう・深めよう！ 観光危機管理の取組

国内外の取組事例と危機時のコミュニケーション

開催日 2022年 **2/17** 木 13:30-17:15  
[12:45アクセス受付開始]

開催方式 ウェビナーによるオンライン開催 [ZOOM]

参加費  
無料



|    | 時刻    | 内容                    | 登壇者  |
|----|-------|-----------------------|--|
| 1部 | 13:30 | 開会挨拶①                 | 観光庁 国際観光部長 金子 知裕   |
|    | 13:35 | 開会挨拶②                 | 国連世界観光機関(UNWTO)本部 持続可能な観光部長<br>ダーク・グラッサー氏 (ビデオメッセージ)   |
|    | 13:40 | 基調講演①                 | 「観光危機管理の意識醸成」<br>観光レジリエンス研究所 代表 高松 正人 氏  |
|    | 14:00 | 基調講演②                 | オーストラリア貿易投資促進庁 (Austrade) 観光復興部長<br>マーガレット・ボーエン氏   |
|    | 14:20 | セミナー                  | 「観光危機管理計画・観光危機対応マニュアル作成の手引きについて」<br>観光レジリエンス研究所 代表 高松 正人 氏   |
|    | 15:30 | 休憩                    |  |
| 2部 | 15:45 | ・事例発表<br>・パネルディスカッション | <p>【事例発表】</p> <p>(1) 阿蘇市 経済部観光課課長補佐 石松 昭信 氏<br/>                     (2) Binnaburra Lodge in Queensland 代表取締役<br/>                     スティーブ・ノアケス氏 (オーストラリア)<br/>                     (3) 函館市 観光部観光企画課長 小林 祐樹 氏<br/>                     ・五稜郭タワー株式会社 総務部長 坂口 誠 氏</p> <p>【パネルディスカッション】<br/>                     テーマ：「観光危機管理計画の策定から実践まで」<br/>                     上記の事例発表の内容も踏まえ、地域の方々や専門家を交えながら<br/>                     討論を行います。<br/>                     ファシリテーター：観光レジリエンス研究所 代表 高松 正人 氏<br/>                     パネリスト：<br/>                     ・函館市 観光部観光企画課長 小林 祐樹 氏<br/>                     ・阿蘇市 経済部観光課課長補佐 石松 昭信 氏<br/>                     ・五稜郭タワー株式会社 総務部長 坂口 誠 氏<br/>                     ・株式会社サンダーバード 代表取締役 翁長 由佳 氏<br/>                     ・Binnaburra Lodge in Queensland 代表取締役 スティーブ・ノアケ<br/>                     ス氏</p> |
|    | 17:15 | 閉会挨拶                  | 国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所 代表 本保 芳明  |

# 登壇者プロフィール



- 金子 知裕/観光庁 国際観光部長  
1991年東京大学法学部卒業後、同年4月に通商産業省（現：経済産業省）入省。ペンシルベニア大学ロースクールで法学修士号を取得。在ジュネーブ国際機関日本政府代表部参事官、通商政策局国際経済課長、通商機構部統括参事官、経済連携課長などを経て、独立行政法人日本貿易振興機構企画部長、資源エネルギー庁国際資源エネルギー戦略統括調整官を歴任。2020年7月より現職。



- ダーク・グラッサー/国連観光機関(UNWTO)本部 持続可能な観光部長  
UNWTO本部 持続可能な観光部 (Sustainable Development of Tourism Department) 部長。銀行勤務やドイツ空軍中佐の経歴を経て、1997年にUNWTO本部に入所。入所後、観光危機管理部長など、様々な役職を歴任し、現在、持続可能な観光部の部長として勤務。同部では、持続可能な地域経営推進国際ネットワーク (INSTO: International Network of Sustainable Tourism Observatories) を管轄する他、気候変動、持続可能な消費と生産、旅行の円滑化等の課題にも取り組んでいる。ドイツ・リュネブルク大学で博士号を取得し、観光危機管理についての研究ではITB科学省を受賞している。



- 高松 正人/観光レジリエンス研究所 代表  
1982年株式会社日本交通公社入社後、ツーリズム・マーケティング研究所代表取締役社長、JTB総合研究所常務取締役観光危機管理研究室長を経て、2020年より現職。WTTC、UNWTO等国际機関の専門委員として活躍する一方、日本における観光危機管理の第一人者として国内外の観光危機管理や観光復興関係業務に数多く関わる。国連防災機関 (UNDRR) の民間ネットワークARISEの日本代表、観光庁の新型インフルエンザ感染予防対策アドバイザー等を務める。



- マーガレット・ポーエン/オーストラリア貿易投資促進庁 (Austrade) 観光復興部長  
2015年にオーストラリア貿易促進庁に入庁。オーストラリアにおける国際貿易、経済、外交政策問題を担当し、投資案件や重要インフラに関する政策をリードしてきた。産業支援における危機管理の対応においては、オーストラリアの山火事対応やCOVID-19パンデミックの初期対応の指揮にあたった。現在は、COVID-19によって打撃を受けたオーストラリアの観光セクターに対する支援を担当。



- 石松 昭信/阿蘇市 経済部観光課課長補佐  
1989年4月に旧阿蘇町役場入庁。2005年4月から市町村合併を機に、阿蘇広域8市町村で構成される公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンターに出向。以後、阿蘇くじゅう観光圏の形成やユネスコ世界ジオパークの認定に貢献。2016年4月から現職。阿蘇サイクルツーリズム学校「コギダス」の組織化、欧州のアドベンチャータラベル市場へのアプローチ、持続可能な観光地域づくりによるサステナブルツーリズムの推進などに取組み中。



- スティーブ・ノアケス/Binnaburra Lodge in Queensland 代表取締役  
世界遺産ラミントン国立公園のピンナ・ブラ・ロッジの理事長。45年にもわたって旅行・観光産業に携わり、アジア太平洋地域における持続可能な観光業の実践を提唱してきた。グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会 (GSTC) の設立にあたっては、アジア太平洋地域の代表としてGSTCの理事を務め、GSTCシニアトレーナーとしても活躍。国連世界観光機関(UNWTO)の観光専門家パネルや世界観光倫理委員会にも参加し、アジアや東アフリカにおけるUNWTOの数々のプロジェクトに貢献している。



- 小林 祐樹/函館市 観光部観光企画課長  
1996年4月に函館市役所入庁。財務部で窓口業務を経験後、教育委員会、企画部、経済部などの業務にあたり、2019年5月より現職。現在、観光部の庶務担当課長として管理業務を担うと同時に、市の観光基本計画の策定・推進、観光に関する調査・統計、観光施設の維持管理などの業務を担当している。



- 坂口 誠/五稜郭タワー株式会社 総務部長  
2005年6月に五稜郭タワー株式会社入社。正社員として営業部へ配属後、経理部にて主任、係長を経て、総務部にてマネージャー（課長職）、次長を歴任し、2017年4月より現職。現在は、総務部長として財務・労務・法務・秘書・人事・設備等の総務全般の統括管理を担当している。



- 翁長 由佳/株式会社サンダーバード 代表取締役  
沖縄県那覇市出身。玉川学園大学文学部外国語学科卒業。卒業後、26年間（一財）沖縄観光コンベンションビューロー (OCVB) にて、MICE、国内プロモーション、企画・施設事業部などの部署に従事。2019年3月、OCVBを退職。同6月に県内初の観光危機管理に特化した「株式会社サンダーバード」を立ち上げ、観光関連事業者を対象にコンサルティング業をスタート。「安全・安心」で選ばれる観光危機に強い沖縄観光の確立を目指し取り組んでいる。



- 本保 芳明/国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所 代表  
世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所代表、東京都立大学客員教授、東武トップアーツ株式会社取締役会長。1974年、東京工業大学大学院修士課程修了。運輸省に入省。経済協力開発機構 (OECD) 日本政府代表部参事官、運輸省政策局観光部観光企画課長、日本郵政公社専務執行役員、国土交通省大臣官房審議官等を経て2008年観光庁設立とともに初代長官に就任。首都大学東京教授（ツーリズムコース）、世界観光倫理委員会委員等を歴任。